

新今宮小中学校跡施設利用問題話し合い

1. 日時 昭和63年 2月23日 (火) 16:00 ~17:00

2. 場所 市役所第 2共通会議室 (B1F)

3. 出席者

別添のとおり

4. 次第

開 会

団体側挨拶

検討状況について説明

意見交換

閉 会

新部氏報告

保護施設が常時定員オーバーな状況。
40年代40名5%不足

↓
現在40名40%不足な状況。

63年度
残りの27名27%保護施設に整備して11C。

↓
63-64にかけ117名定員確保。
身体・精神状態 日常的な生活が維持できずが困難な人。高齢・病弱な人。
※ 1000オーバー規模
5億円整備費。

↓

例をみておられるか。

※ 1000オーバー規模の施設もあつて、今どういふはいいか。
たきとけ付フリースペース女作といふことを考へていふ。

(市側出席者)

民生局福祉部保護課長

物部圭郎

教育委員会事務局総務部連絡主幹

降矢陽治

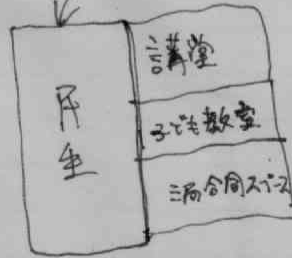
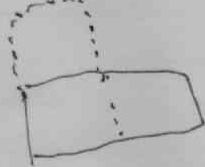
” ” 施設課主査 上田武司

市民生活局市民部勤労市民課長

富永行俊

” ” ” 主査 津山尚古

初期施設(大室)の下。保護施設に付 係属する要。
~~初~~ 工し保の。南に増設して効率を上げたい。
 効率
 実際の運営は、窓口は市民部・福祉事務所。



→ 3F 7F 施設
 集客場

行政課一室他。
 受通課一室付
 ↓
 受通課を別に
 設置したい。

3階 1階
 講堂 子供教室
 民生 福祉事務所
 市民生活局

